平成29年度
北海道バドミントン協会 海外遠征事業
台湾ジュニア交流

12月23日（土）～27日（水）

実　施　報　告　書

目　　次

1. 総括　１頁

2. 参加者名簿　２頁

3. 旅程表　３頁

４．練習内容及び試合結果　４頁

５．現地の環境　１２頁

１）宿泊施設

２）食事

３）移動

４）言語や文化

５）練習環境

６）その他

６．台湾協会の方との交流　１６頁

7. 次年度実施に向けた改善点　１６頁

１．総括

昨年とは異なり、今年は天候にも恵まれたこともあって、台湾への海外交流事業を５日間大きな事故もなく無事に終えることができた。今年も選手16名に対して4名の指導者体制を敷くことは大変手厚く、選手の様子やゲーム内容をしっかりと把握することができた。また、現地での移動が公共交通機関を使用することが多いことから、今後もこの指導者体制（人数）が望ましい。さらに、今回は初めて女性が引率者として参加したが、ゲーム指導はもちろんのこと、健康管理等の様々な面で助かったことから、来年度も女性引率者がいた方が良い。

今回交流試合の相手となった台湾選手のレベルはチーム（学校）により異なるものの、全体的に北海道チームよりはレベルが高いと考えるのが妥当である。実際戦った中学・高校の男子選手は北海道の選手よりもかなりレベルが上であった。特に高校男子は１番手・２番手を担う蝦夷森駿や佐藤陸がケガによりシングルスができないということもあったが、単複合わせて全敗という日があった。中学女子はシングルスでは台湾選手、ダブルスでは北海道選手の勝利が多かったが、台湾選手の方が実力は上であると考えられる。高校女子はほとんど勝つ試合が多かったが、接戦も多く、しかも台湾チームはトップレベルではない台湾のベスト１６レベルの選手を試合相手として選抜していたため、実際はもっと高いレベルにあると考えて良い。

台湾選手は、ラケット操作が巧みであり、ネット前で面を見せてから様々なところへショットを送り込んでくるため、北海道選手は常にラリーの主導権を握られることが多かった。また、ハイバックの技術が高く、北海道の指導者側からすると、中学校段階からのハイバックの練習が必要であると考えさせられることとなった。さらに、シングルス・ダブルスの両方でスマッシュをフルスイングで打つケースが少なかった。オーバーヘッドストロークに関してよりコントロールを重視していると感じた。

今年も台湾選手は淡々と試合をこなす選手が多く、声を出して自らを鼓舞しながらゲームを進める日本（北海道）選手の試合スタイルを台湾のコーチにどう思うか聞いたところ、「そのスタイルは相手にとって嫌な部分でもあるから良いところである」との評価を得た。

今年も海外交流事業の実施に際しては、中華全民羽球發展協會會長の吳俊彥氏を始め、副會長の賴聯旺氏など協会関係者には多大なご協力をいただいた。北海道選手団を温かく迎え入れていただき、とても良好な関係の中で本事業が実施できたと感じている。また、歓迎会や送別会には相手校のコーチや保護者などたくさんの方に出席していただいた。今回の遠征でも台湾協会の通訳の余明珠氏が朝から晩までつきっきりで行動をともにし、コーディネートしてくれたおかげで何不自由なく過ごすことができた。練習時には昨年度同様通訳の謝卉俐氏が、相手チームとの交渉・調整をしてくれ、試合の進行役も務めてくれた。この2名の協力があったからこそ、遠征事業を無事に終えることができたものと大変感謝している。

このような海外交流事業を今後も継続して実施し、北海道のバドミントンの発展とレベル向上を図っていかなければならない。

２．参加者名簿

平成29年度 北海道バドミントン協会 海外遠征事業 参加者名簿

団長 河崎　正紀 KAWASAKI MASANORI	副団長 酒井　智史 SAKAI SATOSHI	高校コーチ 井上　健一 INOUE KENICHI	高校コーチ 佐々木　理恵 SASAKI RIE	中学コーチ 渡辺　成 WATANABE NARUMI	中学コーチ 中村　隆志 NAKAMURA TAKASI

野上　拓哉 NOGAMI TAKUYA 北海高校 ２年(17歳)	大井　洸聡 OI SAISO 北海高校 ２年(16歳)	蝦夷森　駿 EZOMORI SHUN 旭川実業高校 ２年(17歳)	佐藤　陸 SATO RIKU 帯広大谷高校 ２年(17歳)	内山　真希 UCHIYAMA MAKI 深川西高校 ２年(17歳)	佐藤　萌 SATO MOE 深川西高校 ２年(17歳)

田嶋　涼花 TAJIMA SUZUKA 帯広大谷高校 ２年(17歳)	佐藤　凛佳 SATOH RINKA とわの森三愛高校 １年(16歳)	富樫　柚月 TOGASHI YUZUKI 札幌北白石中学 ２年(14歳)	葛西　健斗 KASAI KENTO 札幌伏見中学 ２年(14歳)	丸山　拓海 MARUYAMA TAKUMI 帯広第一中学 ２年(14歳)	池田　侑輝 IKEDA YUKI 帯広第一中学 ２年(13歳)

平元　さや HIRAMOTO SAYA 札幌羊丘中学 ２年(14歳)	開発　茉子 KAIHATSU MAKO 岩見沢光陵中学 ２年(14歳)	志摩　紗希 SHIMA SATSUKI 旭川忠和中学 ２年(14歳)	土佐　梨緒菜 TOSA RIONA 旭川忠和中学 １年(13歳)

３．旅程表

	月日	地区名	現地時間	交通手段	行程	食事 朝	食事 昼	食事 夜
1	12/23 (土)	新千歳空港 台北桃園空港 台北市	9:40 10:10 12:20 15:25 16:55 17:40 18:30 20:00 22:00	 BR-165便 貸切バス 徒歩 徒歩	新千歳空港1F ANA団体出発ロビー 集合完了 搭乗手続・手荷物預け、出国審査(10:30完了) エバー航空165便 離陸 台北桃園空港到着 入国審査 空港からホテルに移動(ガイド付き) ホテルチェックイン、荷物を預け歓迎宴会会場へ移動 歓迎宴会 ジンギスカンバーベキューレストラン ホテルに戻る、ミーティング 就寝	—	各自＋機内食	歓迎宴会
2	12/24 (日)	台北市	6:30 7:00 8:00 9:00 16:40 18:00 21:00 22:00	起床 朝食 貸切バス 貸切バス	 ホテル バスで体育館に移動(林口勝光羽球館) 交流練習会開始(后綜高校・豊原中学) 練習終了、バスでホテルに戻る 夕食(小籠包・餃子・チャーハン他) 翌日準備 ミーティング 就寝	ホテル	体育館でお弁当	外食
3	12/25 (月)	台北市	6:30 7:00 8:30 9:00 16:40 18:00 21:00 22:00	起床 朝食 徒歩 徒歩	 ホテル 徒歩で交流校に移動(大同中学・高等学校体育館) 交流練習会開始 練習終了、徒歩でホテルに戻る 夕食 翌日準備 ミーティング 就寝	ホテル	体育館でお弁当	外食
4	12/26 (火)	台北市	6:30 7:00 8:30 9:00 12:00 14:00 18:30 20:30 22:00	起床 朝食 モノレール 地下鉄	 ホテル 地下鉄・モノレールで体育館に移動(中山中学校体育館) 交流練習会開始(松山高校・中山中学校・能仁高校) 練習終了、ホテルに戻り昼食 市内観光(中正記念堂・台北101) 歓送宴会(慶州館 焼肉バイキングレストラン) 翌日準備、ミーティング 就寝	ホテル	ホテルのレストラン	歓送宴会
5	12/27 (水)	ホテル 台北桃園空港 新千歳空港	6:30 7:30 9:30 14:05	貸切バス BR-116便	ホテルチェックアウト、貸切バス(ガイド付)にて空港に移動 朝食(お弁当) 搭乗手続・手荷物預け・出国審査 (搭乗手続き・手荷物預けまでガイド同行) エバー航空116便 新千歳空港到着、解散	お弁当	機内食	—

４．練習内容及び試合結果（２４日　中学生）

会場	林口勝光羽球館	期日	2016年　12月　24日

＜男子＞

1	丸山　拓海	1	20－22 22－20 19－21	2	洪嘉駿
2	富樫　柚月	1	21－18 12－21 19－21	2	陳芃蓁
3	池田　侑輝	2	20－22 21－16 21－19	1	陳昱廷
4	葛西　健斗	0	16－21 19－21 －	2	蔡仲威
5	池田　侑輝 丸山　拓海	0	7－21 17－21 －	2	張凱荻 謝佳倫
6	富樫　柚月 葛西　健斗	0	15－21 19－21 －	2	張文彥 馬瀚
7	富樫　柚月	0	14－21 10－21 －	2	洪嘉駿
8	池田　侑輝	2	21－16 21－7 －	0	蔡仲威
9	丸山　拓海	0	23－25 20－22 －	2	陳芃蓁
10	葛西　健斗	2	19－21 22－20 21－19	1	陳昱廷

＜女子＞

1	志摩　紗希	1	15－21 21－15 15－21	2	鄭如嵋
2	平元　さや	2	21－16 19－21 21－15	1	藍品茵
3	開発　茉子	0	14－21 15－21 －	2	趙亭妤
4	土佐　梨緒菜	2	21－14 21－15 －	0	張家毓
5	開発　茉子 平元　さや	2	21－19 21－15 －	0	林庭聿 張芳慈
6	土佐　梨緒菜 志摩　紗希	2	21－13 21－12 －	0	張家毓 顏思涵
7	志摩　紗希	2	21－15 16－21 21－17	1	藍品茵
8	平元　さや	2	22－20 21－15 －	0	鄭如嵋
9	開発　茉子	2	21－9 18－21 21－11	1	張芳慈
10	土佐　梨緒菜	0	18－21 19－21 －	2	趙亭妤

（２４日　高校生）

会場	林口勝光羽球館	期日	2016年　12月　24日

＜男子＞

1	**佐藤　陸**	2	22－20 15－21 21－19	1	江新憲
2	**大井　済聡**	2	21－15 21－18	0	周政毅
3	野上　拓哉	0	12－21 18－21	2	**王尚仁**
4	佐藤　陸 蝦夷森　駿	1	17－21 21－8 22－24	2	**張育瑄** **陳昱辰**
5	大井　済聡 野上　拓哉	0	18－21 11－21	2	**王子傑** **黄一晨**
6	**佐藤　陸**	2	21－14 21－11	0	張晧淳
7	佐藤　陸 蝦夷森　駿	1	17－21 22－20 17－21	2	**王子傑** **黄一晨**
8	**大井　済聡** **野上　拓哉**	2	21－17 21－13	0	張育瑄 陳昱辰

＜女子＞

1	**内山　真希**	2	21－17 21－19	0	江品悅
2	**田嶋　涼花**	2	21－16 21－12	0	王孟琳
3	**佐藤　凛佳**	2	21－8 21－14	0	楊凱雯
4	佐藤　萌	1	23－25 21－19 12－21	2	**江品悅**
5	**内山　真希** **佐藤　萌**	2	21－10 18－21 21－16	1	邱可柔 黄依恩
6	**田嶋　涼花** **佐藤　凛佳**	2	19－21 21－14 21－12	1	楊凱雯 林玟汝
7	**内山　真希**	2	21－4 21－6	0	王孟琳
8	**佐藤　凛佳**	2	21－12 21－15	0	趙亭妤
9	**田嶋　涼花**	2	18－21 21－16 21－11	1	江品悅

（２５日　中学生）

会場	大同中学･高等学校体育館	期日	2016年　12月　25日

＜男子＞

1	丸山　拓海	0	18－21 18－21	2	胡佑齊
2	富樫　柚月	0	9－21 18－21	2	許喆宇
3	池田　侑輝	1	13－21 21－13 18－21	2	李登揚
4	葛西　健斗	2	21－17 21－19	0	蘇家進
5	池田　侑輝 丸山　拓海	0	17－21 11－21	2	劉廣珩 劉家峰
6	富樫　柚月 葛西　健斗	0	9－21 11－21	2	丁彥宸 洪邦峻
7	丸山　拓海	0	11－21 17－21	2	許喆宇
8	富樫　柚月	2	21－18 18－21 27－25	1	胡佑齊
9	池田　侑輝	2	23－21 21－17	0	蘇家進
10	葛西　健斗	2	19－21 22－20 21－19	1	李登揚
11	池田　侑輝 丸山　拓海	1	21－16 12－21 17－21	2	丁彥宸 洪邦峻

＜女子＞

1	志摩　紗希	0	17－21 16－21	2	黃瀞平
2	平元　さや	0	10－21 20－22	2	林子妘
3	開発　茉子	2	11－21 21－14 21－14	0	郭卉欣
4	土佐　梨緒菜	0	10－21 16－21	2	王玲萱
5	開発　茉子 平元　さや	0	18－21 17－21	2	賴子彧 賴慶卉
6	土佐　梨緒菜 志摩　紗希	0	6－21 11－21	2	蔡辛芸 林若珩
7	平元　さや	2	21－14 21－15	0	黃瀞平
8	開発　茉子	2	19－21 21－19 21－17	1	王玲萱
9	志摩　紗希	1	20－22 21－14 18－21	2	林子妘

（２５日　高校生）

会場	大同中学･高等学校体育館	期日	2016年　12月　25日

＜男子＞

1	佐藤　陸	0	9－21 11－21	2	陳敬崴
2	大井　済聡	0	12－21 17－21	2	朱柏印
3	野上　拓哉	0	19－21 16－21	2	林柏儒
4	佐藤　陸 蝦夷森　駿	0	18－21 17－21	2	林聖傑 盧 震
5	大井　済聡 野上　拓哉	0	19－21 16－21	2	葉宏蔚 蘇力瑋
6	佐藤　陸	0	19－21 11－21	2	朱柏印
7	大井　済聡	0	19－21 18－21	2	黃郁豈
8	野上　拓哉	0	14－21 3－21	2	陳敬崴

＜女子＞

1	内山　真希	2	21－10 14－21 21－18	1	郭昱綺
2	田嶋　涼花	2	14－21 21－16 21－15	1	謝心瑜
3	佐藤　凛佳	2	18－21 21－17 21－14	1	吳杰蓉
4	佐藤　萌	2	21－11 14－21 21－17	1	陳柔慈
5	内山　真希 佐藤　萌	2	21－9 21－14	0	王信雯 陳郁竹
6	田嶋　涼花 佐藤　凛佳	0	18－21 19－21	2	陳奕璇 謝心瑜
7	内山　真希	0	19－21 7－21	2	黃映瑄
8	田嶋　涼花	2	21－13 21－16	0	郭昱綺
9	佐藤　凛佳	2	21－14 21－8	0	陳柔慈
10	佐藤　萌	0	16－21 7－21	2	吳杰蓉

（２６日　中学生）

会場	中山中学校体育館	期日	2016年　12月　26日

＜男子＞

1	丸山　拓海	0	16－21 9－21	2	林芫平
2	富樫　柚月	0	15－21 12－21	2	黃　鈺
3	池田　侑輝	0	14－21 17－21	2	賴睿成
4	葛西　健斗	0	19－21 16－21	2	賴品達
5	池田　侑輝 丸山　拓海	0	12－21 19－21	2	賴品達 沈詩勳
6	富樫　柚月 葛西　健斗	0	11－21 16－21	2	李彥勁 張　言
7	丸山　拓海	0	13－21	1	黃　鈺

＜女子＞

1	志摩　紗希	0	15－21 17－21	2	陳彥穎
2	平元　さや	0	16－21 17－21	2	簡綵琳
3	開発　茉子	1	21－12 18－21	1	李雨璇
4	土佐　梨緒菜	1	20－22 22－20	1	林芷均
5	開発　茉子 平元　さや	2	21－17 21－15	0	蘇欣美 謝曜如
6	土佐　梨緒菜 志摩　紗希	0	10－21 11－21	2	林芷均 游美儒
7	開発　茉子 平元　さや	0	15－21	1	李雨璇 簡綵琳

（２６日　高校生）

会場	中山中学校体育館	期日	2016年　12月　26日

＜男子＞

1	佐藤 陸 蝦夷森 駿	1	21－23 21－17	1	陳子睿 黃星穎
2	大井 済聡 野上 拓哉	1	21－17 13－21	1	簡明彦 鍾昱凱
3	大井 済聡 野上 拓哉	0	19－21 15－21	2	**廖倬甫** **盧煒璿**
4	大井 済聡 野上 拓哉	0	19－21 17－21	2	**陳子睿** **黃星穎**

＜女子＞

1	**内山 真希** **佐藤 萌**	2	21－13 21－14	0	王思敏 魏婉亦
2	**田嶋 涼花** **佐藤 凛佳**	2	21－18 21－15	0	周仲庭 丁雅芸
3	**内山 真希**	2	21－12 21－10	0	丁雅芸
4	田嶋 涼花	1	21－14 15－21	1	揚穎奇
5	**佐藤 凛佳**	2	22－20 21－18	0	簡綵琳
6	**内山 真希** **佐藤 萌**	2	21－12 21－16	0	王思敏 魏婉亦

練習初日　１２月２４日対戦相手

后綜高中（高等学校）

姓名	年齢	性別	最佳成績
周政毅	17	男	全國團體賽　高中男生組　第五名
王子傑	17	男	全國團體賽　高中男生組　第二名
張育瑄	17	男	全國團體賽　高中男生組　第五名
江新憲	16	男	全國團體賽　國中男生組　第三名
王尚仁	16	男	全國團體賽　高中男生組　第五名
陳昱辰	15	男	全中運　國中男生雙打　冠軍
黃一晨	16	男	全中運　國中男生雙打　冠軍
林玟汝	17	女	全中運　女生團體　第四名
楊凱雯	17	女	全中運　女生團體　第四名
黃依恩	18	女	106年第二次全國排名賽　女子乙組雙打　第三名
王孟琳	17	女	高中盃女生團體　第五名
邱可柔	17	女	106年第二次全國排名賽　女子乙組雙打　第三名
江品悅	16	女	排名賽　女子乙組單打　第二名

豊原國中(豊原中学)

姓名	年齡	性別	最佳成績
陳芃蓂	15	男	106年臺中市中等學校運動會 男子單打 冠軍
洪嘉駿	15	男	106年臺中市全國羽球錦標賽 男子單打 冠軍
謝佳倫	15	男	106年全國中盃羽球錦標賽 男生團體 第三名
馬瀚	15	男	106年全國中盃羽球錦標賽 男生團體 第三名
張凱荻	14	男	106年全國中盃羽球錦標賽 男生團體 第三名
張文彥	14	男	106年全國中盃羽球錦標賽 男生團體 第三名
陳昱廷	14	男	106年全國中盃羽球錦標賽 男生團體 第三名
鄭如嵋	15	女	105年全國中盃羽球錦標賽 女生單打 第二名
籃品茵	15	女	2017年居鑾國際羽球賽 U15女子單打 季軍
林庭聿	14	女	106年臺中市中等學校運動會 女子雙打 冠軍
趙亭妤	14	女	2017年居鑾國際羽球賽 U15女子單打 亞軍
張家毓	13	女	106年臺中市全國羽球錦標賽 國中二、三年級女生雙打 冠軍
張芳慈	13	女	106年臺中市全國羽球錦標賽 國中二、三年級女生雙打 冠軍
顏思涵	12	女	2017年居鑾國際羽球賽 U15女子雙打 第五名

練習２日目　１２月２５日対戦相手

臺北市立大同高中羽球球隊員與日本北海道代表隊對抗賽名冊

序號	姓名	性別	部別年級	序號	姓名	性別	部別年級
1	蘇力瑋	男	高三	1	黃瀞平	女	國九
2	陳敬崴	男	高三	2	林若珩	女	國九
3	盧　震	男	高三	3	賴子彧	女	國九
4	葉宏蔚	男	高三	4	賴慶卉	女	國九
5	林聖傑	男	高三	5	蔡辛芸	女	國九
6	林柏儒	男	高三	6	郭卉欣	女	國九
7	朱柏印	男	高三	7	王玲萱	女	國八
8	黃郁豈	男	國九	8	林子妘	女	國八
1	郭晏綺	女	高二	1	許喆宇	男	國九
2	陳奕璇	女	高二	2	胡佑齊	男	國九
3	王信雩	女	高一	3	劉廣珩	男	國九
4	吳杰蓉	女	高一	4	劉家峰	男	國九
5	陳邡竹	女	高一	5	丁彥宸	男	國八
6	謝心瑜	女	高一	6	洪邦峻	男	國八
7	陳柔慈	女	高一	7	蘇家進	男	國八
				8	李登揚	男	國八

練習３日目　１２月２６日対戦相手

中山國中(中山中学校)

姓名	年齢	性別	最佳成績
簡綵琳	15	女	106 年夏季盃全國錦標賽國女單第一名
陳彥穎	15	女	106 年夏季盃全國錦標賽國女單第二名
李雨璇	14	女	2016 年蘭卡威國際青少年錦標賽 13 歲女雙第一名
林芷均	14	女	2017 年馬來西亞居鑾青少年分齡賽 13 歲女雙第一名
蘇欣美	14	女	105 年全國國中盃女雙第五名
謝曜如	14	女	105 年全國國中盃女雙第五名
游美儒	14	女	2016 年蘭卡威國際青少年錦標賽 13 歲女雙第一名
林羽珮	13	女	105 年全國國中盃女雙第八名
賴睿宬	15	男	2016 年全民會長盃國際青少年分齡賽 14 歲男雙第五名
林芫平	14	男	105 年全國國中盃男單第五名
賴品達	14	男	106 年夏季盃全國錦標賽國男雙第二名
沈詩勳	14	男	106 年夏季盃全國錦標賽國男雙第二名
張　言	14	男	106 年夏季盃全國錦標賽國男雙第三名
李彥劭	13	男	106 年夏季盃全國錦標賽國男雙第三名
黃　鈺	13	男	104 年全國國小盃小男單第二名
陳子亦	13	男	2016 年全民會長盃國際青少年分齡賽 13 歲男雙第五名

松山高中（松山高等学校）

丁雅芸	15	女	106 年全國國手選拔(亞青)15 歲女單第一名
許秝楹	15	女	106 年全國國手選拔(亞青)15 歲女單第二名
魏婉亦	15	女	105 年全國國中盃國女雙第一名
王思敏	15	女	105 年全國國中盃國女雙第一名
吳宣佩	15	女	106 年全中運國女雙第二名
周仲庭	15	女	106 年全中運國女雙第二名

能仁高校

姓名	年齢	性別	最佳成績
陳子睿	15	男	106 年高中盃第二名
廖倬甫	15	男	106 年全中運單打第二名
簡明彥	15	男	韓國分齡賽 U17 男雙第五名
鐘昱凱	15	男	2017 年薪加坡分齡賽 U17 男雙第五名
盧煒璿	15	男	2017 年薪加坡分齡賽 U17 男雙第五名
黃星穎	15	男	106 年全中運團體第三名

５．現地の環境

１）宿泊施設

今年も「第一大飯店」というホテルで、幹線道路に面した場所にあり、日本でおなじみの飲食店やコンビニエンスストア（セブンイレブンやファミリーマート）なども近くにあり便利である。昨年よりも日本人向けの飲食店が増加している気がする。繁華街が近いため、人通りも多く賑やかな場所である。ホテル内は日本の通常のビジネスホテルの雰囲気だが、日本のホテルのように隅々まで清掃が行き届いているわけではない。ランドリーがなく、近隣にもコインランドリーがなかったため、洗濯は手洗いで対応せざるを得なかったが、多くの海外遠征では日常的に行われていることなので、良い経験となった。また、貴重品の管理について、パスポートに関しては、全員フロント横の金庫で保管させた。その他の現金等の貴重品は高校生については自己管理とさせたが、中学生はコーチの人達が現金を保管することもあった。今年も事故はなかったが、治安の良い国とはいえ、部屋のドアを開けっぱなしにすることや、ノックに対して不用意にドアを開けることは慎んだ方が良い。

２）食事

朝食、夕食殆どがバイキングであったため、香辛料が強い食べ物等は避けることが出来、不自由することはなかった。さらに、今年は昨年と異なり、台湾協会や相手チームの大同中学・高校の保護者などの協力により、２日間の昼食時のお弁当は、日本人向けの唐揚げ弁当やいなり寿司・巻き寿司といった食べやすいものを用意していただいた。選手達は昨年と違ってほとんど残さずに食べることができた。あちらの好意には大変感謝すべきところである。現地の人より水道水を飲用することは禁止さていたので、コンビニで常にミネラルウォーターなどを購入し、対応していた。また、試合場所の体育館でも台湾協会がミネラルウオーターを用意してくださっていたので、飲み水に関しては不自由することはなかった。今回は食事に関しての問題点はほとんどなかったと言える。特筆すべきは、２日目の夕食の小籠包は、選手全員が大変喜んでいたので、来年も必ず食べに行くべきだと思う。

３）移動

北海道・新千歳空港から台湾・台北桃園空港までの飛行時間は、行きと帰りで多少違うものの、4時間前後である。出入国審査と荷物の預けや受け取りに時間を要するため、時間に余裕を持って行動する必要がある。台北桃園空港からホテル（第一大飯店）までは、ガイド付きの貸し切りバスで移動し約1時間で到着した。

練習場所までは今年はバスと地下鉄での移動となった。地下鉄の移動の際に出退勤時と重なると混雑するため、列を長く作っていると乗り遅れる危険性があるので、引率者は地下鉄などでは１つの出入り口に固まらず、分散して生徒を連れて乗り込むべきである。また、地下鉄では飲食厳禁のため、大金の罰金制度がある。気軽に飲み物、飴・等を食べることに注意を促す必要がある。地下鉄やバスを利用するにあたっても、ホテルから徒歩3分以内で乗車することができたので、移動しやすかった。

４）言語や文化

常時2人の通訳が行動を共にしてくれたので、特段不便を感じることはなかった。今年度も空港からホテルまで現地のガイドをつけていただいていたので、飛行機のチェックの際にも不自由することがなかった。飲食店やコンビニエンスストアなどでは、日本語はほとんど通じないが、支払いなどのやり取りは身振り手振りで対応可能である。接客は日本のように親切ではないが、最低限のことはしてくれる。また、コンビニエンスストアではレジ袋が有料であるため、買い物にはバック等を持って行くことを推奨する。

行動した範囲においては交通量が多く、特に二輪車（バイク及びスクーター）の数が多い。道路は右側通行であることと、車や二輪車が歩行者優先の意識が薄いので、特に夜間は慎重に行動した方が良い。

５）練習環境

３日間の練習は１日目にバドミントン専用の体育館である林口勝光羽球館で豊原中学校と后綜高等学校とおこなった。この２校は昨年度は大雪で１日遅れの出発となったため戦うことができなかった学校であり、１年越しの試合となった。。練習試合会場の体育館はバドミントンを行うための専用施設で横長に１２面ある、日本では余り見られない形状の体育館である。また、床が大変固く、足への負荷がかなりかかることが予想されたため、選手達には試合後のケアをいつも以上に入念に行うように指示した。

２日目は、大同高校において、大同中学校・大同高校と練習試合をおこなった。大同高校は、台湾でも毎年トップクラス選手を輩出している強豪校である。体育館の２階にはトレーニングのための器具が大変充実しており、練習環境の充実ぶりがうかがえた。

３日目は中山中学校体育館4面で練習。中山中学校体育館では道内の小学校ぐらいの規模の体育館であり、天井が異常に低かった。中山中学校は通常の木製の床で足への衝撃はなかった。

今年もどちらの体育館も飲用の水道水はなく、自動販売機は設置されていない。前日に飲物を十分な量準備しておく必要がある環境である。

初日の練習会場「林口勝光羽球館」バドミントン専用体育館
コートとコートの間の上に照明が配置されている。
老朽化から解体し、敷地一帯は住宅街に整備されることが決定している。

台北市立大同高級中学、校舎の 3 階 4 階にバドミントン専用体育館が作られている。コートは 4 面。写真正面の 2 階スペースにトレーニング器具が整備されている。YONEX の旗の両側に張られている 2 枚の旗が右写真の旗。

台北市立中山国民中学 体育館は今回の会場の中で唯一の木製フローリング床の体育館。バドミントンコートは横並びでの４面。天井が低く、ロングハイサービスが天井にぶつかるフォルトが何度も見られた。
男子はこの日、会場校の中山中学、能仁高校の選手に対して勝ち星を挙げることはできなかった。

６）その他

今年度の遠征期間中の台北市の気候は、快晴で気温は25度前後であり、大変過ごしやすい。練習試合１日目の体育館は多少肌寒かったが、それ以外は体育館内も暖かく、指導者も半袖で十分であった。朝晩も気温が高く薄手のアウターがあれば充分であった。

物価は日本とあまり変わらないか、多少安いくらいである。中学生は事前に日本で換金を済ませていたが、高校生は現地のホテルで換金をするものが大半であり、1元（台湾ドル）＝3.96円で換金した。新千歳空港で行うと＝4.32円での換金であったので、現地で換金する方が得である。また、台北桃園空港での換金率が一番安く、酒井先生が生徒の必要分をまとめて両替してくれたため、昨年度よりも若干得した状態であった。今後もこの形が継続されるべきである。

今回も昨年同様、選手の小遣いは2万円以内としたが、お土産等を含めても１万円程度用意すれば間に合うレベルである。少し両替金額が多かったため、台湾ドルを余していた選手が多く、日本に帰国して円に換金していた生徒が数名いた。そこで更に手数料が発生するので、来年からは１万円程度という表記に変えた方が良いと思う。

６．台湾協会の方との交流

今年度は２３日に副會長の賴聯旺氏などに参加いただいて歓迎会、２７日に中華全民羽球發展協會會長の吳俊彥氏を始め、副會長の賴聯旺氏など多くの関係者の方々に出席をいただき、送別会をしていただいた。

練習では毎回開始式を行い、協会関係者の挨拶や選手同士の握手、記念撮影を行った。昨年度とまでと異なった大きなこととしては、どの学校でも参加選手が直接交流相手となった中学生や高校生にプレゼントを用意していてくれたということである。想定外のことで、そのためのプレゼントを事前に用意していなかったため、来年度はそのためのプレゼントも用意して持って行く必要がある。

７．次年度実施に向けた改善点

次年度も継続して実施することを前提に、より充実した海外交流事業にするため、今回の反省を踏まえ、以下のとおり改善点を挙げる。

① 観光について

今回は練習試合３日目を午前中で終了し、観光をおこなったが、女子は楽しんでいたが、男子は、疲れもあるのかダラダラとすわることも多く、自由時間もひたすらスマホゲームといった状況のため、果たして観光が必要なのかは考えるところである。

② 引率者について

この事業ももう３回目となってほとんどがマニュアル化されてきたため、台湾へ持って行くたくさんのお土産を事前の最終打ち合わせで分配して各自が当日持って来る形をとれば、引率者が札幌近郊にいなければならないということもない。

③ シングルス中心の選手選抜

台湾ではシングルスをおこなう回数が多いため、高校生は北海道選手権ベスト４のシングルス４人で選抜するべきだと思います。今回は高校男子シングルスの１番手・２番手がケガでできない日もあったため、相手になってない状況の試合も多く見られた。

④ケガ人・病人が多いときの対応

ケガ人は基本的に年明けの全国選抜予選にベストコンディションで臨むために無理できないし、指導者も無理させることはできない。パスポートの必要な遠征であることから、メンバー変更もままならず、もし、出発直前のケガやインフルエンザで参加が困難になった場合の対処を考えておかなければならない。

【報告書作成者】文責　井上　健一（北海道深川西高等学校）
佐々木　理恵　（北海道名寄産業高等学校）
中村　隆志　（森町立森中学校）
渡辺　成　（札幌市立簾舞中学校）
酒井　智史　（札幌新川高等学校）